

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	S-1 術後補助化学療法を施行した pStage II/III 胃癌症例の術後再発に対する術後合併症の影響
	研究目的	胃切除後合併症は予後不良因子であると報告され、背景に合併症に伴う炎症反応が微小転移の顕在化に関与すると推察されている。補助化学療法 (Adj) は微小転移の制御が目的で、術後合併症と補助療法の再発に対する影響は相反して作用すると考えられるが、補助療法実施症例を対象とした術後合併症と再発に関する報告は少ない。当院において根治的胃切除術後に S-1 術後補助化学療法を施行した pStage II/III 胃癌症例を対象とし、術後合併症なし群とあり群の 2 群間で無再発生存率(RFS)を後方視的に比較検討し、術後補助化学療法を施行した症例においても術後合併症が再発に関与することを明らかにすることを目的とする。
	研究対象者	2000 年 1 月から 2011 年 12 月までに当院において根治的胃切除術後に S-1 術後補助化学療法を施行した pStage II/III 胃癌症例 226 例を対象とする。
	研究期間	西暦 2019 年 11 月 13 日 ~ 西暦 2020 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	渡邊勇人
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし